



帝京科学大学は、公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、「同機構が定める大学評価基準に適合している」と認定されました。

平成 30 年度

# 帝京科学大学大学院 医療科学研究科

## 学生募集要項

—— 修 士 課 程 ——

# 目次

建学の精神、大学院入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
募集人員、出願資格、出願期間、試験日、合格発表日	2
出願手続	3
選考方法、合格発表、入学手続	4
平成 30 年度入学金及び授業料等、長期履修制度	5
入学辞退手続	6
帝京科学大学大学院医療科学研究科総合リハビリテーション学専攻概要	7
設置の趣旨、教育課程、履修方法、授業の実施方法	7
教育課程表	8
授業科目及び担当教員	9
志願票記入上の注意	10
試験場案内図	11

## 個人情報の取扱いについて

出願においてお知らせいただいた個人情報（氏名、住所等）は入学案内、入学試験に付随する業務及び統計的集計を行うために利用します。

この業務の一部は、本学から当該業務の一部を委託した業者（以下「受託業者」という。）にて行うことがあります。

業務委託に当たり、個人情報の保護に関する契約を締結した受託業者に、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供することはありますが、帝京科学大学が明示するよう用途のみの利用であり、その受託業務を越えた利用はありません。

# 建学の精神

人類の将来を正しく見据え、生命の尊厳を深く学び、自然と人間の共生に貢献できる人材を育成し、持続可能な社会の発展に寄与する。

## 大学院入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

### 医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻 修士課程

医療科学研究科では、様々な課題について具体的な問題意識とそれを解決する熱意をもち、生命倫理・医療倫理を尊重しながら、研究とその実践に取り組む積極性と行動力を備える次のような人材を求めます

- (1) 疾病の予防や健康増進、生活の支援など、地域での自立生活や社会参加の支援等に至る様々な展開に貢献しようという意欲をもった人
- (2) 医療及び地域の実践場面における問題発見能力や問題解決能力をはじめ、実践研究の計画、情報処理、ディスカッション、プレゼンテーション等の能力を高め、高度専門職業人並びに実践研究者としての資質を高めたいという姿勢と熱意をもった人
- (3) 高い倫理観と豊かな人間性をもった人

### 受験及び修学上の特別配慮について

身体機能の障がいや疾病・疾患により、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、遅くとも出願を希望する募集区分の出願開始日の2週間前までに、帝京科学大学入試係までお問い合わせください。本学の対応が決定後、出願していただきます。

なお、要望等に対応できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。  
また、不慮の事故等により、出願後に特別な配慮が必要となった場合も速やかにご連絡ください。

帝京科学大学 入試係 03-6910-3706 (直通)

## 1 募集人員

課程	専攻	募集人員
修士課程	総合リハビリテーション学専攻	3名

※ 募集人員の一部については、本学卒業予定者等から別途選考することがあります。

## 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法に定める大学を卒業した者及び平成30年3月末日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法の規定により学士の学位を授与された者及び平成30年3月末日までに修了見込の者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月末日までに卒業見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月末日までに修了見込の者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月末日までに修了見込の者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年3月末日までに修了見込の者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 学校教育法の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本学大学院において、その教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

### 《注意事項》

出願資格の(3)、(4)、(5)、(6)、(7)、(8)、(9)によって出願しようとする者は、出願を希望する募集区分の出願開始日の1か月前までに千住キャンパス入試・広報課入試係まで問い合わせの上、本学が指定する書類を提出してください。出願資格等が認定された者は、定められた出願期間内に願出を行ってください。

帝京科学大学 入試係 03-6910-3706（直通）

## 3 出願期間、試験日、合格発表日

募集区分	出願期間	試験日	合格発表日
I 期	平成29年11月20日(月) ～11月24日(金)	平成29年12月3日(日)	平成29年12月7日(木)
II 期	平成30年2月26日(月) ～3月2日(金)	平成30年3月9日(金)	平成30年3月15日(木)

## 4 出願手続

### (1) 出願書類

- ア 志願票（本学所定用紙）  
3 cm×3 cmのカラー写真（出願前3か月以内に撮影した正面上半身、無帽、無背景のもの）を所定欄に貼付してください。なお、写真の裏面には、志望専攻名及び氏名を明記してください。
- イ 卒業（見込）証明書  
出身大学長又は学部長が作成し、厳封したもの
- ウ 学部の成績証明書  
出身大学長又は学部長が作成し、厳封したもの
- エ 志望理由書（本学所定用紙）  
志望の理由及び将来の研究に対する希望についてまとめたもの
- オ 受験承諾書（本学所定用紙）  
官公庁、学校、企業等に在職中の者は、所属長の受験承諾書を添付してください。
- カ 住民票の写し  
日本国内に居住している外国人の方は、市区町村で発行された住民票の写し（在留資格・在留期間等が明記されたもの）を提出してください。

### 《注意事項》

- ① 婚姻等の事由により戸籍と証明書の氏名が異なる場合、戸籍抄本を添付してください。
- ② 外国語で作成されている書類について、公的機関や民間の翻訳会社等の発行する日本語の翻訳（原本）を必ず添付してください。「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合は、出願を受け付けません。
- ③ 研究指導教員との事前相談  
志望分野、領域を選定後、出願前に、必ず領域教員と事前相談を行ってください。

帝京科学大学 入試係 03-6910-3706（直通）

### (2) 入学検定料 33,000 円

志願票の振込依頼書を使用し、最寄りの金融機関の窓口から振り込んでください。  
なお、ATMや電話・インターネット等による支払いはできません。

### (3) 出願方法

- ア 郵便による出願（出願期間内必着）  
提出書類を一括して「大学院出願書類在中」の封筒に入れ、簡易書留速達郵便で送付してください。
- イ 直接来学しての出願（願書受付期間・受付時間等にご注意ください。）  
提出書類を一括して「大学院出願書類在中」の封筒に入れて提出してください。
  - ・ 願書提出場所：千住キャンパス本館4階入試センター
  - ・ 窓口受付時間：月曜～金曜 9時～17時、土曜 9時～12時
  - ※ 日曜、祝日及び願書受付期間以外の事務取扱いはしません。

### (4) 注意事項

- ア 出願後の記入内容の変更は認めません。
- イ 提出した出願書類及び入学検定料は、一切返還しません。

## 5 選考方法

筆記試験、面接試験及び書類審査（成績証明書、志望理由書等）を行い、総合的に可否を決定します。

### (1) 筆記試験

- ① 英語
- ② 小論文

### (2) 面接試験

志望する研究内容や意欲等について、15分程度の面接試験を行います。

### (3) 試験時間割

時間	試験内容
9:30	集合
10:00～10:10	受験上の注意
10:10～11:10	英語
11:20～12:20	小論文
12:30～	面接

## 6 合格発表

- ・ 合格発表日に、受験者全員に受験票を送付した宛先・志願者本人宛で、選考結果を郵便にて通知します（学内掲示による発表は行いません。）。
- ・ 合格者には合格発表日に、入学手続書類等を郵便で発送します。  
注：窓口、電話、郵送等による可否結果の照会に関する問い合わせには一切応じません。

## 7 入学手続

### (1) 手続方法

- ア 入学金及び授業料等の納入  
本学指定の振込依頼書により、指定期日までに納入してください。
- イ 書類提出〔誓約書、卒業証明書〕  
※ 書類提出の詳細については、合格者へ送付する入学手続要項において指示します。

### (2) 手続期限

募集区分	学費納入期日及び書類提出期日
I 期	平成29年12月14日（木）
II 期	平成30年3月23日（金）

入学金及び授業料等の納入期日までに手続を完了しない場合は、入学の意志がないものとみなし、入学許可を取り消します。詳細については、合格者へ送付する入学手続要項において指示します。

## 8 平成 30 年度入学金及び授業料等

修士課程

(単位：円)

区 分	学外出身者		学内出身者	
	入学手続時	年 額	入学手続時	年 額
入 学 金	310,000	310,000	210,000	210,000
授 業 料	400,000	800,000	400,000	800,000
実 験 実 習 費	—	—	—	—
施 設 設 備 費	100,000	200,000	100,000	200,000
冷 房 暖 房 費	20,000	40,000	20,000	40,000
学 生 傷 害 保 険 料	1,790	1,790	1,790	1,790
合 計	831,790	1,351,790	731,790	1,251,790

## 9 長期履修制度

本学では、職業等に従事しているなどの事情により、大学院の標準修業年限（2年）で履修することが困難な場合、4年を上限として計画的に教育課程を履修することができる長期履修制度を導入しています。授業料等は、学則に定める授業料等の年額に標準修業年限を乗じ、その額を長期履修期間の年数で除した額とします。

### (1) 申請資格

長期履修制度に申請できる者は、職業を有している者又はその他やむを得ない事情を有し、標準修業年限で修了することが困難な者に限ります。

### (2) 長期履修期間

長期履修期間は、年度単位とし、次のいずれかとします。

- ① 入学時から長期履修制度を許可された者は、3年又は4年
- ② 1年次に長期履修制度を許可された者は、残りの修業年限に1年又は2年を加えた年数

### (3) 申請時期及び申請書類

出願期間内に出願書類とともに、長期履修制度申請書（本学所定）に職業を有している者は在職証明書、その他のやむを得ない事情の場合はその事情を証明する書類を添付して、提出してください。合格通知とともに、申請の許可又は不許可についてお知らせします。

### (4) 長期履修期間の変更

入学後、長期履修期間の延長又は短縮を申請することができます。但し、変更は1回限りとします。

### (5) 授業料等について

長期履修制度における授業料、施設設備費及び冷暖房費（以下「授業料等」という。）の年額は、学則に定める授業料等の年額に、標準修業年限を乗じ、その額を長期履修期間の年数で除した額とします。その額に千円未満の端数が生じる場合は切り下げ、端数の合計額を初年時に加算します。在学中に長期履修期間の変更が認められた場合は、新たな履修期間に応じて再計算します。

## ① 修士課程 [長期履修期間 3 年]

(単位:円)

区 分	学外出身者		学内出身者	
	入学手続時	年 額	入学手続時	年 額
入 学 金	310,000	310,000	210,000	210,000
授 業 料	267,000	534,000	267,000	534,000
実 験 実 習 費	—	—	—	—
施 設 設 備 費	67,000	134,000	67,000	134,000
冷 房 暖 房 費	14,000	28,000	14,000	28,000
学生傷害保険料	2,650	2,650	2,650	2,650
合 計	660,650	1,008,650	560,650	908,650

## ② 修士課程 [長期履修期間 4 年]

(単位:円)

区 分	学外出身者		学内出身者	
	入学手続時	年 額	入学手続時	年 額
入 学 金	310,000	310,000	210,000	210,000
授 業 料	200,000	400,000	200,000	400,000
実 験 実 習 費	—	—	—	—
施 設 設 備 費	50,000	100,000	50,000	100,000
冷 房 暖 房 費	10,000	20,000	10,000	20,000
学生傷害保険料	3,470	3,470	3,470	3,470
合 計	573,470	833,470	473,470	733,470

## 10 入学辞退手続

入学手続を完了した者で入学を辞退する者は、平成 30 年 3 月 31 日 (土) 正午 (12 時) までに以下へ電話連絡し、入学辞退を申し出てください。その時点をもって入学辞退が確定します。後日本学より送付する「入学辞退届」に必要事項を記入し、「入学許可書」とともに返送してください。返送された書類を確認した上で、入学金を除く金額を返還します。なお、上記期日を過ぎての入学辞退申出については、納入金を返還しません。

## 【入学辞退の連絡先】

帝京科学大学 千住キャンパス 入試・広報課入試係 TEL: 03-6910-3706 (直通)

受付時間: 月曜～金曜 9 時～17 時、土曜 9 時～12 時

※ 日曜、祝日及び年末年始 [12 月 29 日 (金)～1 月 3 日 (水)] は事務取扱いはしません。



# 帝京科学大学大学院医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻概要

## 1 設置の趣旨

「いのちをまなぶキャンパス」を統一イメージとする本学では、健康を三つの段階で保障・推進することが重要であると考えています。第一段階としては、「生きる」というレベルで健康を享受すること。これは、まさに人間が生物として生きる最低限の保障です。第二段階では、健全な人間が疾病に罹患、あるいは外傷を負った場合でも、日常生活に必要な「寝る、起きる、食べる、働く」などの行為が行えるよう適切に対処され、再び普通の生活に戻ることのできる「医療」の保障があること。そして第三段階は、第一、第二段階が保障された条件の下で、「自立した生活を支援すること」の推進です。このことは、可能な限りの疾病の予防、健康の保持・増進をはかり、自らの生き方を考えることができる余裕のある生活、すなわち「QOL (Quality of life) の向上」を求めるものです。急速に進む高齢化は医療・介護の社会的負担を招くことから、医療費の削減に直接的につながる「健康であること」への関心は必然的に高まっています。このことから、「健康の第三段階」に対応する教育・研究内容を、より広範かつ生活レベルの視点から実践できる高度職業人の養成を目指し、「人間にとって必要な健康のあり方」、すなわち「疾病予防、健康増進、自立生活支援」の推進に寄与することを目的にしています。

## 2 教育課程

本研究科は、先進的な専門知識と技術を持って、質の高い総合的・包括的リハビリテーションサービスを提供でき、かつ指導的役割を担っていくことのできる高度専門職業人を養成することを目的に、本研究科で養成する人材像を踏まえ、次のようなカリキュラム・ポリシーを掲げています。

- (1) 各分野で指導的・中心的役割を果たすとともに、他職種との適切な連携ができ、臨床・教育・研究に寄与できる高度専門的職業人の育成を目指して、体系的かつ実践的な教育を行います。
- (2) 幅広い学修が可能となるよう、学際領域を含む科目を開講し、履修選択を広げて、学生の希望に応じた多様な科目を履修可能な教育課程を編成します。
- (3) 研究科専攻において、研究のために必要な基本的事項の学修に基づき、特別研究、論文作成をとおして、批判力、論理性、表現力を育成するための教育体制を整備します。

上記のカリキュラム・ポリシーに基づき、本専攻の教育課程の編成は、基礎医学分野、応用医学分野、応用専門分野、特別研究から構成しています。

## 3 履修方法

本専攻では、基礎医学分野（4科目8単位）、応用医学分野（5科目10単位）、応用専門分野（18科目36単位）、特別研究（4科目12単位）の合計31科目があり、「疾病予防・健康増進・自立生活支援」を学ぶ内容となっています。特に応用専門分野18科目においては、「地域リハビリ支援領域」「身体機能支援領域」「高齢者支援領域」の3領域に細分化され、特論と演習を設けています。必修科目は、特別研究の総合リハビリテーション学研究法特論Ⅰ・Ⅱと総合リハビリテーション学特別研究Ⅰ・Ⅱの4科目です。選択科目については、幅広い学修が可能となるよう、応用専門分野3領域の各領域から1科目以上を選択履修する必要があります。その他の科目選択については、指導教員の履修指導を受けた上で科目を選択し、指導教員の特論、演習は必ず履修することとしました。修了に必要な単位数は、必修科目12単位及び選択履修6単位を含む所定の授業科目30単位の修得を必要とします。

## 4 授業の実施方法

授業時間は原則、月曜日から金曜日の16:20～17:50、18:00～19:30、19:40～21:10を設定し、土曜日は9:00～17:50までの時間帯に科目開講時間をあわせています。また、夏期休業期間及び冬期休業期間に集中講義を柔軟に実施します。

## 5 教育課程表

科目区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		授業形態		
			必修	選択	講義	演習	
基礎医学分野	機能構造学特論	1 前		2	○		
	機能構造学演習	1 後		2		○	
	生体機能学特論	1 前		2	○		
	生体機能学演習	1 後		2		○	
	小計(4科目)	—	0	8	—		
応用医学分野	臨床リハビリテーション学特論	1 前		2	○		
	臨床整形外科特論	1 後		2	○		
	臨床神経内科学特論	1 前		2	○		
	生活習慣病治療学特論	1 後		2	○		
	社会病理学特論	1 後		2	○		
	小計(5科目)	—	0	10	—		
応用専門分野	地域リハビリ支援領域	地域リハビリテーション学特論	1・2 前		2	○	
		地域リハビリテーション学演習	1・2 後		2		○
		生活活動分析学特論	1・2 前		2	○	
		生活活動分析学演習	1・2 後		2		○
		高齢化地域生活支援特論	1・2 前		2	○	
		高齢化地域生活支援演習	1・2 後		2		○
	身体機能支援領域	神経・発達機能解析学特論	1・2 前		2	○	
		神経・発達機能解析学演習	1・2 後		2		○
		運動機能解析学特論	1・2 前		2	○	
		運動機能解析学演習	1・2 後		2		○
		内部機能解析学特論	1・2 前		2	○	
		内部機能解析学演習	1・2 後		2		○
	高齢者支援領域	高齢者リハビリテーションケア特論	1・2 前		2	○	
		高齢者リハビリテーションケア演習	1・2 後		2		○
		臨床動作分析特論	1・2 前		2	○	
		臨床動作分析演習	1・2 後		2		○
		健康心理学特論	1・2 前		2	○	
		健康心理学演習	1・2 後		2		○
小計(18科目)	—	0	36	—			
特別研究	総合リハビリテーション学研究法特論Ⅰ	1 前	2		○		
	総合リハビリテーション学研究法特論Ⅱ	1 前	2		○		
	総合リハビリテーション学特別研究Ⅰ	1 通	4			○	
	総合リハビリテーション学特別研究Ⅱ	2 通	4			○	
	小計(4科目)	—	12	0	—		
合計(31科目)		—	12	54	—		

## 6 授業科目及び担当教員

### 修士課程 総合リハビリテーション学専攻

授業科目については、平成30年度開講予定科目を記載しています。

分野・領域等		授業科目	担当教員
基礎医学分野		機能構造学特論 機能構造学演習	准教授 高田 雄三
		生体機能学特論 生体機能学演習	教授 橋本 眞明
応用医学分野		臨床リハビリテーション学特論 臨床整形外科特論	教授 平林 茂
		臨床神経内科学特論 生活習慣病治療学特論	教授 眞先 敏弘
		社会病理学特論	教授 鈴木 幹夫
応用専門分野	地域リハビリ支援領域	地域リハビリテーション学特論 地域リハビリテーション学演習	教授 橋本 伸也 (平成30年4月就任予定)
		生活活動分析学特論 生活活動分析学演習	准教授 眞鍋 克博 (兼任)
		高齢化地域生活支援特論 高齢化地域生活支援演習	教授 山田 健司
	身体機能支援領域	神経・発達機能解析学特論 神経・発達機能解析学演習	教授 潮見 泰藏
		運動機能解析学特論 運動機能解析学演習	教授 宮下 智
		内部機能解析学特論 内部機能解析学演習	准教授 廣瀬 昇
	高齢者支援領域	高齢者リハビリテーションケア特論 高齢者リハビリテーションケア演習	教授 泉 キヨ子
		臨床動作分析特論 臨床動作分析演習	教授 江口 英範
		健康心理学特論 健康心理学演習	講師 津田 彰 (非常勤)
	特別研究	総合リハビリテーション学研究法特論Ⅰ 総合リハビリテーション学研究法特論Ⅱ 総合リハビリテーション学特別研究Ⅰ 総合リハビリテーション学特別研究Ⅱ	各教員

\* 担当教員については、退職等により変更になる場合があります。



# 試験場案内

## <帝京科学大学 千住キャンパス>



### 大宮

[宇都宮線・高崎線～常磐線]  
大宮～上野～北千住 (約 44 分)

### 新宿

[中央線～東京メトロ千代田線]  
新宿～御茶ノ水・新御茶ノ水～北千住 (約 23 分)  
新宿～御茶ノ水・新御茶ノ水～町屋 (約 19 分)

### 東京

[山手線～東京メトロ千代田線]  
東京～西日暮里～北千住 (約 18 分)  
東京～西日暮里～町屋 (約 15 分)

### 横浜

[東海道線～山手線～東京メトロ日比谷線]  
横浜～東京～秋葉原～北千住 (約 42 分)  
[東海道線～山手線～東京メトロ千代田線]  
横浜～新橋～西日暮里～町屋 (約 47 分)

### <願書提出先：本館 4 階入試センター>

〒120-0045 東京都足立区千住桜木 2-2-1  
Tel : 03-6910-1010 (代表) Fax : 03-6910-3800

### <本館、2 号館>

北千住駅西口からバス 5 分  
(千住桜木下車徒歩 1 分)  
北千住駅から徒歩約 20 分  
町屋駅からバス 5 分又は徒歩約 18 分

### <7 号館>

北千住駅西口からバス 4 分  
(千住竜田町下車徒歩 1 分)  
北千住駅から徒歩約 15 分

### 春日部

[東武スカイツリーライン]  
春日部～北千住 (約 20 分)

### 土浦

[常磐線快速]  
土浦～北千住 (約 56 分)

### つくば

[つくばエクスプレス]  
つくば～北千住 (約 34 分)

### 船橋

[京成本線]  
京成船橋～町屋 (約 45 分)

お問合せ先  
帝京科学大学  
千住キャンパス 入試・広報課入試係

---

〒120-0045 東京都足立区千住桜木二丁目2番1号  
TEL : 03-6910-3706 (直通)  
FAX : 03-6910-3802  
公式ウェブサイト : [www.ntu.ac.jp/](http://www.ntu.ac.jp/)  
メールアドレス : [nyushi@ntu.ac.jp](mailto:nyushi@ntu.ac.jp)